

## 指定管理者審査委員会議事録（三島市民文化会館）

<b>会議名</b>	(公募施設) 三島市民文化会館 第2回指定管理者審査委員会
<b>日時</b>	令和6年10月7日(月) 13時00分～16時30分
<b>会場</b>	三島市役所 本館 第1会議室
<b>出席委員</b>	<b>【市職員】</b> (副市長=委員長)井口 智樹、(副市長)鈴木 昭彦、 (企画戦略部長)飯田 宏昭、(産業文化部長)水口 国康 <b>【外部委員】</b> (副委員長)草間 路代、山村 誠、山田 浩通、岩下 晶子
<b>施設所管課</b>	<b>【文化のまちづくり課】</b> 加藤課長、江間課長補佐、塩崎主査
<b>事務局</b>	<b>【行政課】</b> 谷村課長、高梨主幹、三澤主事補
<b>会議の公開</b>	非公開

### 1 開会

### 2 委員長挨拶

三島市民文化会館の指定管理者を公募したところ、2団体からの申請があった。本日の審査会は非公開で行うが、三島市情報公開条例により、会議録は不開示情報を除き公開の対象となる。積極的に発言いただくとともに慎重な審議をお願いしたい。

### 3 資料確認と審査の流れ

事務局より審査委員会の流れを説明

### 4 ヒアリング 申請者1 株式会社コンベンションリンケージ

#### (1) プレゼンテーション(30分以内)を実施

##### ア 申請者の経営能力及び業務実績について

文化施設、産業支援施設、コンベンション施設、コミュニティ施設まで全国で豊富な実績を持ち、全国で約52施設の管理運営を行っている。

文化事業、国際会議、国内会議、スポーツイベントなど大型コンベンションや展示会など年間2,000件以上の運営実績を持つ、ソフトとハードの両方を手掛けるプロフェッショナル集団である。

市民や地域、企業、行政などとの連携を推進し、クライアントや利用者の満足度を向上させる質の高いサービス、高付加価値提案型の管理運営を展開していく。

三島市民文化会館と同規模の劇場を全国で管理し、コンベンション機能を有する2,000席以上の劇場の起ち上げでは業界トップの実績と経験がある。

##### イ 施設を管理運営する上での総合的な基本方針について

運営の基本方針は、「三島市民とともに歩み、まちの魅力と地域コミュニティを育む文化拠点へ」を掲げている。特有の自然と歴史が育んだ三島文化を軸に文化拠点を築き、地域と手を携え、経済との相乗効果を生み出し、回遊性を高めるまちづくりを推進することで、三島市の文化的ブランド力の向上を図っていく。

この方針を実現するため「三島文化を体験できるイベントを開催し、積極的に世界へ発信すること」、2つ目「市民の期待に応える魅力的な文化プログラムを提供すること」、3つ目「市民に開かれた運営と地域コミュニティ形成に注力すること」、4つ目「三島駅周辺活性化のための連携ウォークアブルシティを推進すること」の4つの重点施策を掲げている。

#### ウ 施設を管理運営する上での人員配置及び人材育成について

運営部門では、多様な施設運営実績を持つ弊社のノウハウを結集し、施設の価値を最大限に高める人員を配置する。地元雇用を基本とし、将来的に全てのスタッフが地元の方で運営することを目指す。

人材確保については、弊社は、女性活躍推進法に基づく「プラチナえるぼし」認定を取得しており、女性の育児休暇取得率100%を実現している。また、継続雇用、地元雇用を推進、障害者雇用などの取組により、スタッフを確保し、雇用の充実を図る。

人材育成については、採用時研修、窓口業務研修、自衛消防訓練などの基本研修に加え、文化事業や設備取扱いに関する専門研修を実施する。

#### エ リスクマネジメントと危機管理について

施設の安全を守る取組として、館長を責任者とし、各部門責任者や保守点検事業者等で構成される評価チームを設置し、重篤な危機の未然に防止に対応する。

施設や設備の潜在的なリスクの把握とその評価を定期的実施し、設備点検や劣化状況については、対応した保守点検事業者から直接説明を受ける機会を設け、三島市の担当者との立ち会いのもと現場確認を実施する。

人材育成・スタッフ研修による「全スタッフの上級救命講習受講」等、幅広い世代への万全な傷病者対応を実践する。

#### オ 施設の運営について

チケット予約システムのリニューアルを行い、24時間予約、座席選択機能、多様な決済・受取方法の導入により利便性を高める。

会員組織のサービスの充実として、市民文化会館の会員組織「友の会」の取組を強化する。ウェブ予約と優先予約のみならず、会員組織の特典として、鑑賞型講演や講座・ワークショップ事業など市民文化会館で行われる全てのイベントに先行予約や割引などの制度を設定することで、インセンティブを設ける。

ワンストップサービスの提供として、企画段階から実施・終了まで主催者に代わって様々な手配を行う。例えば音響・照明・映像のオペレーター、当日の運営サポート、チラシ・ポスター製作、お弁当、バスの手配など多岐にわたるサービスを一括して提供する。

利用者の要望の収集と把握については、あらゆる機会を捉え、意見・要望を収集し、共有、報告、分析などを行い、施設への信頼を得るようにしていきたい。

広報活動については、テレビ局と連携し、メディアが持つ媒体を用いたパブリシティや情報発信を行う。また、市民文化会館は、三島市のランドマークの一つとして「水の都」

のブランディング確立を行い、ウェブサイトや各種パンフレットにこのようなイメージを持たせ、市民文化会館の魅力を効果的に発信することを目指す。

周辺施設、商店街との連携施策としてクーポンや飲食マップの制作、まちの周遊を促進するイベントを開催する。

#### カ 施設の管理運営にかかる経費について

施設の管理運営に係る収入増加策としては、より気軽に便利な施設利用を促進するパッケージプランの導入、自主事業としての大ホール時間貸しデーを行う。また、積極的に公的助成金を活用し、自主文化事業の原資とする。

経費削減策としては、マルチタスクな人材の配置、ICT活用、専門会社への委託、共同購入・一括契約などにより効率的な経費削減を図る。

#### キ 自主文化事業について

鑑賞型事業を中心とした「文化体験の拠点」、普及型・育成型事業、アウトリーチを行う「文化創造の拠点」、観光、産業振興や地域コミュニティの形成を目指す「まちづくりに寄与する拠点」このような市民文化会館に求められる3つの役割を設定し、それぞれを重要な位置に位置付け、総合的に事業計画を立案していく。

自主文化事業の企画誘致について、三島での事業実施に当たっては、弊社東京本社のライブエンタメ事業部と県内メディアとの連携により独自の誘致・制作体制を構築する。静岡+東京の体制により、質の高い講演を三島市に届る。

まちづくりに資する事業として、三島市を中心として静岡県東部の市町が連携し、静岡県最大級の絵本フェスティバル「ものがたり博」の開催を目指す。

その他「水の都・三島アート&クラフトプロジェクト」、「三島の音風景づくりプロジェクト」を開催し、アートや音から三島市の文化的アイデンティティを発信していく。また、これらの取組は市民参加型の要素を多く取り入れ、地域コミュニティの活性化にも寄与する内容とする。

#### ク 屋外広場（屋外ステージ）の利用について

回遊性を高め三島の魅力を最大限に引き出すイベントを企画する。市内の事業者と協力し、指定管理者側で机、椅子などの備品を揃えるところからスタートする。まちなかウォーキングでは、屋外広場を会場とし、三島駅周辺市街地の人気スイーツ取扱店の一品を食べ歩くウォーキングイベントを開催するほか、マルシェイベントなどを定期的に開催する。

#### ケ その他の提案について

MICEによる地域経済の振興及び地域活性化に取り組む。

最新のカメラ式駐車場システムの導入により利便性の向上を図る。三島駅南口の再開発や駅ロータリーの改修により、車を止めるスペースが減少している懸念の声を聴いている。この対応として、施設利用に影響のない時間帯での一般駐車場利用の提案をする。

指定管理料について、効率的な運営と経費節減、利用者増の対策により指定管理料5年間合計5億7800万円を提案する。

## (2) 質疑応答

(委員長) プレゼンテーションが終わったので、質疑に入ります。事前質問はありませんで

したが、ご質問があれば挙手願います。

- (委員) 屋外広場の活用について、周辺にホテルが多く、散歩する方も多く立地はよい。具体的な活用方法は。
- (事業者) マルシェが効果的。小規模からスタートし規模を拡大したい。具体的には体験イベントや野菜の販売等。近隣の白滝公園を生かして、地域団体の朝活とのタイアップ等市民活動と連携していきたい。
- (委員) 電気代が高騰している。他自治体で運営する施設については、上昇分の負担はどうしているか。
- (事業者) 自治体のルールに沿っており、統一したものはない。補填のない場合は、新電力の活用等、企業努力で対応している。
- (委員) 自主文化事業の企画は事業所単位で検討するのか、それとも本社も含め会社全体で企画するか。
- (事業者) 市民参加型のイベント等は事業所単位が多いが、大型イベント等は本社の専門部署から講師を手配する等スケールメリットを活かしていきたい。
- (委員) 指定管理料の内訳で自主事業分が年々マイナスになっている理由は。
- (事業者) 現在より質と量は下げたくない。企業努力で文化庁等の公的な助成金等を活用して対応していく。
- (委員) 三島市と人口規模の近い自治体の施設ではどのような企画を行っているか。
- (事業者) 地域の状況に応じて、高齢者向けの企画等も提案させていただく。
- (委員) チケットの電子予約について高齢者への対応はどうするか。
- (事業者) キャッシュレスを推進したいが、現金でのやり取りも可能としたい。
- (委員) プラチナえるぼしを取得しているが、育休者が出た場合の人員の補填は。
- (事業者) 女性が多いので育休者が続くこともあり、少し多めに雇用している。
- (委員) 男性の育休取得率は。
- (事業者) 男性も100%だが、対象者が少ない。令和5年度は2名である。
- (委員) 非常事態が起こった場合の対応は。災害があった場合を想定すると配置スタッフが少ないのでは。
- (事業者) 事前に参加者に話し、避難訓練を兼ねたクラシックコンサート等をやっている。避難所になっている施設もあるため、訓練は定期的を実施。避難所に指定されている施設も管理しているので、施設管理の場合、スタッフはシフト制で交代勤務となるが、非常時には24時間体制で対応できるよう訓練している。
- (委員) 駐車場の開催以外の時間帯の貸出についても提案があったが、イベントに係る搬入等の運営に支障がないようどのように工夫しているか
- (事業者) 駐車場の入口に表示の切り替わる看板等を設置し、一般車が使える時間帯がわかるようにする。あくまで施設利用者を優先したうえで一般車両を受け入れたい。
- (委員) 三島駅南口は現在東街区を整備中で駐車場が不足しているのでありがたい提案だが、東街区の整備終了後も一般車両の受け入れはやってくれるのか。
- (事業者) 続けていくつもりである。
- (委員) 提案内容に係る各種システム、設備等の費用も指定管理者の負担と考えてよいか。

- (事業者) 当社の責任のもとに対応するので、市には負担は生じない。
- (委員) 市民参加型の自主事業の回数がかなり多いが集客の見込みは。
- (事業者) 定員 20 名程度の企画が多く、受講料をいただいて収支をイーブンにしていく計画。実施回数は幅を持たせた提案となっているが、詳細な施設の稼働率の把握後に柔軟に対応していく。ステージオープン等も、学校やダンス団体等で一定の利用があると思う。
- (委員) 収支予算書について人件費が毎年上がっている根拠は。
- (事業者) 最低賃金が上がっていることや、社としても毎年賃金が上がっているためである。
- (委員) 三島市のことをよく調べて提案をしていると思うが、当市にどのようなイメージを抱いているか、また事業者から見た三島市の優位性等をお答えいただきたい。
- (事業者) 新幹線から降りると富士山が見え、少し歩くと源兵衛川があり、時期によっては蛍も見られる。またお酒もおいしいという印象。また、三嶋大社もあり、夏にはシャギリ等も行われ、文化と景観に優れていると感じる。
- 東京圏に通勤するために越してきた方も多いが、その中で地域コミュニティが形成され、市民の活動が活発と感じる。伝統芸能や絵本のまち三島の活動等、三島に住む方々の活動が三島らしさを作っていると感じる。当社が選定された場合には活動団体等との話の場を設けて、運営開始までにブラッシュアップしていきたい。
- (委員長) 以上で、質疑応答を終了とする。

#### ※申請者退出

## 5 ヒアリング 申請者 2 甲

### (1) プレゼンテーション（30分以内）を実施

#### ア 申請者の経営能力及び業務実績について

当JVは、A社、B社、C社の3社で構成されている。A社は、地域イベント、大型コンサート、シティプロモーションについて高い専門性を有している。また、指定管理者専門部署を設置しており、本施設をはじめ県下の類似施設 10 施設の指定管理に当たっている。

B社は、県内の類似施設の舞台操作業務を数多く手がけている。本施設については指定管理者制度発足前の平成 3 年の本施設のオープンから 33 年という長きにわたり舞台操作業務を担当している。

C社は、平成 20 年度より本施設の施設管理を担当し、全国で類似施設の施設管理を数多く手がけている。

当JVは、19 年にわたり三島市民文化会館の管理運営に当たってきた。指定管理前 60.8%であった稼働率は、平成 30 年度に 76.7%に増加し、20 万人前後で推移していた利用人数は、安定的に 22 万人を超えるようになってきた。

友の会組織については、平成 30 年の 5,188 名から令和 6 年 9 月現在 12,389 名まで増加している。

#### イ 施設を管理運営する上での総合的な基本方針について

当JVは、「みんなが使いやすい、みんなに喜ばれる、静岡県一『面倒見のいい』会館に

します。」を館是に運営してきた。このことが利用者増加、稼働率向上につながったと自負している。今後もこの館是を堅持しつつ総合計画、文化振興基本計画を念頭に置き、これまでの経験、ノウハウ、ネットワークを活用し、今まで以上にまちづくりに貢献できる会館を目指し、次のような基本方針を策定する。

基本方針①「全ての市民に喜ばれ、利用される会館」を継続する。幅広い市民に喜んでもらえる文化事業の実施、利用者ニーズにワンストップで対応、キャッシュレスなど時代のニーズに対応したサービスに取り組む。

基本方針②「市民が集い、地域の文化を育む会館」を目指す。市民が文化と出会うきっかけづくり、幅広い文化活動の支援などに取り組む。

基本方針③「安全・安心な施設管理を行う会館」。安全・安心を第一に経済合理性に配慮した保守管理を行っていく。

基本方針④は「つながる力で、まちづくりに貢献する会館」とした。文化には多様な人々を繋げる力がある。当JVが培った地域とのつながりを生かして市のまちづくりに貢献していきたい。

#### ウ 施設を管理運営する上での人員配置及び人材育成について

組織構築に当たっては、A社、B社、C社の3社が高い専門性と本施設の運営経験を活かしながら役割分担を明確にしつつ、緊密に連携し、効率的かつ確実な施設運営を行う。

現組織を踏襲し、現スタッフをそのまま配置する。各職員には高い専門性を有する者を配置し、市民の様々な要望、きめ細やかなサービスに対応できる体制を構築する。

#### エ リスクマネジメントと危機管理について

地震、火災等における予防管理と危機管理を徹底する。あらゆる事象、リスクに対応するために危機管理マニュアル、事象別緊急対応マニュアル、一次措置マニュアルを整備する。また、職員の防災意識を高めるために防災訓練、防災研修を実施するとともに、リスク発生時の緊急体制を構築する。

#### オ 施設の運営について

「利用者満足と利用率のさらなる向上により施設効用の最大化を目指す」を施設運営の方針と定めている。施設のさらなる効率的な運用を図り、施設効用の最大化を目指す。

利用者サービス向上の取組として、イベントサポート室、貸館チケット発券、PC出力サービス、ユニバーサルデザインの推進については継続し、必要に応じ、授乳スペースの設置、託児サービスを実施し、子育て層に配慮する。また、利用者から強い要望のあるチケット販売システム、窓口のキャッシュレス決済の導入を進めていく。

利用者からの苦情、意見、要望等の把握については、あらゆる機会を通じて様々な声を収集、これらの情報を運営、舞台管理、施設管理で共有し、業務にフィードバックすることで利用者の満足向上につなげていく。

広報については、パブリシティの積極的な活用、ホームページのコンテンツ充実、Instagram・X・LINEの活用、デジタルサイネージを活用し、コストパフォーマンスの高い広報を展開していく。

新たな施設利用者拡大のための方策として、学会・国際会議の誘致、MICE・企業をターゲットにしたWebページ、シニア層・主婦層の掘り起こしをしていく。

#### カ 施設や設備の維持管理等について

施設管理については、短期的なコストダウンでなく、長期的な視点からコストダウンを図ることで、建物のライフサイクルを踏まえた真の維持管理コスト削減を実現する。

中長期的な建物等整備計画を策定し、中長期視点から施設管理コストを最適化する。

省エネルギーについて、当JVは指定管理開始年度より省エネルギー対策に積極的に取り組んできた。今後もさらなる省エネ施策等により光熱水使用料の削減を継続実施する。

#### キ 施設の管理運営にかかる経費について

三島市民文化会館の利用率は、他の会館と比べても非常に高いことから、現割引と基本料金体系を継続する。収入の確保を図るために、積極的な営業活動を展開し、法人・個人を含めた利用層の拡大を進めていく。営業活動の強化、コンベンション・学会の誘致、サークルの誘致、法人向け需要の喚起、シニア層・主婦層向け自主企画の開催、助成金の活用・法人協賛の獲得、収益性の高い自主文化事業の実施に取り組み収入の確保を図っていく。

#### ク 提案金額について

支出計画として、人件費は細かなサービスの維持が可能な人件費を計上、事務費は初期投資後、経年的にコスト削減、自主文化事業費はまちづくりに貢献できる会館を実現するため、これまで以上の経費を計上している。

収入計画として、利用料金収入は利用促進施策、積極的な営業活動に取り組むことで増収を図る。

指定管理料は5年間で合計6億3,000万円を提案する。

#### ケ 自主文化事業について

当JVは、自主文化事業を鑑賞事業、育成事業、まちづくり事業の3つの事業で展開し、市民から喜ばれる、市民から支持される事業を実施していく。

鑑賞事業は、全ての市民に優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する事業である。満足度の高い市民に喜ばれる事業の実施、各種助成金・補助金事業の活用に取り組み、特定の層に偏ることなく幅広い層の集客を図っていく。

地域の伝統文化を継承する育成事業を進めるに当たっては、地域教育機関や文化団体との協力が不可欠である。当JVはこれらの団体との連携強化を図りながら文化振興基本計画に示された文化の庭の役割を果たしつつ育成事業を進めていく。

第5次総合計画の基本理念「つながりを力に変える」を踏まえて、文化芸術と人と人をつなげる力、人とまちをつなげる力を活用することで市のまちづくりを推進する。

#### コ 屋外広場（屋外ステージ）の利用について

現在、屋外広場、屋外ステージ、地下ギャラリーの利用が少ないのが課題である。これらの施設をまちづくり交流広場のコンセプトで地域の文化団体等に開放することで利用を促し、市街地活性化、まちづくりにつなげていく。また、地域イベントと連携し、マルシェやフリーマーケットとしての利用を促していく。

#### サ その他の提案について

地下ギャラリーの看板設置、市民ロビーの活用、音楽を通じた移住者サポート、脱炭素運営の取組を提案します。これらを進めることで本施設の効用がさらに発揮され则认为

ている。

## (2) 質疑応答

(委員長) プレゼンテーションが終わったので、質疑に入ります。事前質問はありませんでしたが、ご質問があれば挙手願います。

(委員) 今回の選定にあたり、新規の提案等、特色は何か。

(事業者) 時代に即したデジタル化。キャッシュレスのチケットシステム等を新規に導入していく。また、文化で市民をつなげていきたいと考えており、市民文化祭を重要なものと位置付けており、施設だけでなく街中のにぎわいを創出していきたい。

(委員) 現在、三島駅南口東街区の整備のため、駐車場が不足している。施設の駐車場が空いている時に一般車両の受け入れができないか。

(事業者) 施設の駐車場台数は十分ではないが、利用状況によっては施設利用以外の車両の受入れも状況によって行っていく。消防が街中で検査を行う際の駐車や、夏まつり期間中に駅前ロータリーが使えない等の際のバスの駐車場所等である。

(委員) 会館の前にある広場について、市で条例を制定し、貸出ができるようになったが、利用が芳しくない。目の前の広場がなかなか使われない。活用が進むような案はないか。

(事業者) 三島駅に続く通行の多い立地であることも活かして、市民文化祭のメンバー等に声掛けしてできればと考えているが、何のイベントでもよいという訳にもいかない。

通りかかった一般の方たちの目に触れるよう、ミュージシャンの方に演奏してもらい、自分たちも何かやってみたいと思ってもうらよう誘発していきたい。

また、グループ企業で取り組んでいる集客の多いイベントなども取り入れていきたい。

(委員) 他市町の管理施設についての評価等が記載されている。Cという評価になっている施設があるが理由は何か。

(事業者) AからEの5段階評価だが、Cは滞りなく運営されているという評価である。この自治体では他社が管理している施設についてもC以上の評価は見たことがない。

(委員) 提案書内で面倒見のいい会館と謳っているが、具体的にはどのような対応をするのか。

(事業者) 初めて利用する方等のためにイベントサポート室を設け、事業を進めていく支援や、看板等の製作やイベント保険等の案内等をサポートしていく。

また、利用者との窓口での打合せ時に、話を聞き、こちらで感じる部分等もお伝えするようにしている。そのほか、車いすの方でも利用しやすいように、スタッフに講習を行っていく。

(委員) 自主事業（文化祭）に係る提案について、運営のボランティアを集められる見込みは。また友の会の会員特典として、協賛店の優待券を発行するとの計画



だが、店舗の負担につながらないか。そのあたりについて確認したい。

(事業者) 文化祭のボランティアについては、他のプロジェクトに参加している団体が呼び掛ける。友の会の優待券への協賛店のメリットとしては、当会館のホームページに掲載する等を行う。

(委員) 平日の利用拡大のため、シニア層と子育て世帯の需要を掘り起こす提案があり、ある程度絞ったほうがやりやすいと思うが、全国の世帯で子育て世帯は、18%というニュースもあった。共働き世帯が増加していることを考慮すると、もう少しシェアを広げて検討したほうが良いのでは。

(事業者) 昼間の会議室の利用促進のため、ターゲットを絞ったまちづくりワークショップ等を企画した。ターゲットを絞りすぎずシェアを広げていくことも検討していきたい。

(委員) 提案に営業体制を強化していくと記載されているが、配置人数に反映されていない。どのような方法で営業強化を図っていくのか。

(事業者) 利用者への声掛け、メール登録した利用者への施設利用の受付開始時期のお知らせ等のサービスを進めていく。また、首都圏からのアクセスがよいことから都内の企業の利用も増えているため掘り起こしを行っていきたい。当社の事業所が近隣市町にあり、イベント等の企画を担っているが会場として三島市民文化会館を利用するよう呼びかけ、グループとしてバックアップしていきたい。

(委員) 公共施設は利用者からの苦情も多いと思うが、カスタマーハラスメントについての条例を東京都が定めたように、カスハラについて何か対応は検討しているか。

(事業者) トラブルや苦情等については最終的に館長が対応する。チケットの購入に関して、購入できなかったケースや入金後の返金等に係る苦情が多い。今後増えてくることも見込まれるためマニュアル作りを進めていきたい。本社の方でもコンプライアンス委員会等も立ち上げており、それら検討結果をマニュアルに反映できればと考えている。

(委員) ジョイントベンチャー（共同企業体）で管理運営を行うメリットやデメリットは何か

(事業者) JVのメリットとしては各社の専門性を活かせること、市民の皆様に安全な施設で様々な企画ができると考える。

(委員) デジタル化に向けた取り組みについて、ホームページについて外国語対応や協賛店の紹介等の提案があったが、ほかにどのような検討をしているか。

(事業者) スマートフォンで見やすい、予約システムが使いやすい等はもちろん、他の同業の施設を研究し、自主事業や市の魅力のPR等、動画を活用して図ってきたい。

(委員長) 以上で、質疑応答を終了とする。

※申請者退出

## 6 総合審査

(委員長) 申請団体のヒアリングが終了したので、総合審査に入る。各委員の立場から気づいた点、評価すべき点、問題点をお願いしたい。

### (1) 株式会社コンベンションリンケージ

- ・実現可能性の判断は難しいが、駐車場の活用等の新しい提案が魅力的である。
- ・指定管理料が年々安くなる提案は評価できる。
- ・大きなイベントを手掛けている点や首都圏との連携が強いという点は魅力である。
- ・街中の回遊性についての提案もおもしろそうだと感じた。
- ・女性活躍推進で優れた企業に与えられる「プラチナえるぼし」の認定を受けていることは評価できる。
- ・働きやすい職場環境として残業抑制の取組みがよくできている。
- ・自主文化事業を企業努力で抑えて、管理費を下げるという提案は優れている。
- ・実際にヒアリングをして提案をしているが、運営後に三島市の状況と提案内容に開きがあった場合にどう対応していくのかという懸念はある。
- ・建物の築年数や三島という立地上、南海トラフ等を想定した緊急時対応が可能かについては未知数である。

### (2) 申請者 甲

- ・安定性は評価できる。
- ・地元に着した運営は評価できる。
- ・ホームページのデジタル化を進めていくという提案は期待できる。
- ・街中の回遊性等の提案があったが本当に実現できるのかという懸念はある。
- ・JVの場合メリットもあるが、責任の所在が不明確になるという懸念もある。

(委員長) 採点表への最終評価を記入し、事務局へ提出願いたい。

## 7 採点結果報告及び採決

(委員長) 事務局から集計結果を発表する。

(事務局) 両事業者とも総得点1,200点の6割以上となる720点を満たしている。両社のうち、高評価を与えた委員の人数は株式会社コンベンションリンケージが6名、申請者甲が2名である。

(委員長) 集計結果に対し、何かご意見があるか。特にないようなので、株式会社コンベンションリンケージを令和7年度から5年間の三島市民文化会館の指定管理者の第1順位候補者、申請者甲を第2順位候補者に決定する。

(事務局) 今後の指定管理者指定の流れだが、本日選定した第1順位候補者と細目協議を行い、協議が整った場合には、仮協定書を締結し、11月議会に上程し、議会での議決を受けた後に、指定管理者の指定という運びになる。

(委員長) 以上で、三島市民文化会館の第2回指定管理者審査委員会を終了する。